



由利高原鉄道『鳥海山と水鏡に映える列車』(撮影 佐藤和博氏)

### 【今号の紙面から】

会長・校長挨拶	P 2
由利高原鉄道の話(春田啓朗さん)	8
学校の話『言葉の祭典』、地域活動でも活躍、卒業生大学進学実績	4
部活動紹介	5
新しい市場の創造に挑戦して30年(濱田正久さん)	6~7
同期会OB・OG会だより	8~9
柏豊会からのお知らせ	10
会計・代議員報告、教職員異動、幹事一覧	11
伊勢の御神宝(浅井盛征さん、増村紀一郎さん)、編集後記	12

6月1日・同窓会 年に一度の

# 親睦会

☆2014年(平成26年)6月1日(日)午後1時から・豊島高校にて  
☆予約不要・お誘い合わせてご参加下さい。

☆おいしい料理と抽選会有!

☆参加費2,000円 但し卒業4年以内の会員は無料!

2011年(平成23年)3月以降卒業の方

ホームページもご覧ください

柏豊会の最新情報を発信しております。  
ぜひアクセスを!



下記アドレスを入力ください

<http://www.hakuhou.biz>



お問い合わせはmember@hakuhou.biz



### 学校の近況から



豊島高校校長 小宮山 英明

柏豊会の皆様には、ご清祥のこととお慶び申し上げます。また日頃より母校の教育にご理解と多大なるご支援を賜り、感謝申し上げます。

さて、平成23年度より3年間の重点支援校の指定期間が終了しました。これまでの実践をとおして、進学実績は着々と向上しております。生徒も上位大学、難関大学への挑戦に向けて日々学業に専念し、自らの将来設計を想起して、その実現に向けた努力を怠りません。豊島の生徒の9割弱は大学に進学します。それも7割は現役です。一浪を「ひとなみ」と読んだ時代はもう昔なわけです。

最近の若者は、物事の選択にあ

たり損得だけで天秤に架けているように言われます。実際、取捨選択の基準はあくまで自己都合ですが、複雑に絡んだ周囲の状況から、損を選択することもあるのが世の中です。この機会を高校生に求めるには、人生経験も、周りを見極める知識も足りません。むしろ、高校生が選択して捨てて良いものがあるとは、私には思えません。現に今、大学進学を呼びかけると入れる学校選びをまですし、難関校へ挑戦しようという気概のある子でも、受験科目を少なくし、受験勉強の負担を減らそうとします。そして、受験科目以外は勉強しなくても良いと考えてしまっています。このことが様々な知識の拡充

と合格に向けた戦略指導との矛盾を生み、先生方を悩ませます。最高学府である大学はその専門性を深化させ、カタカナの多い学科を増やしてきました。グローバル・メディア・スタディーズ学部、リベラルアーツ学部、子ども科学部。看板だけでは何を勉強するのかを判りません。1、2年は教養、3年から専門、4年は卒業論に冷汗を流し、就職活動で初めてネクタイを締める。二昔前の学生生活です。専門の勉強は大学1年から入っています。卒業までに専門以外の教養も身に付けているからこそ、大卒として、その知識の広さを持つて一置かれていました。しかし、今は大卒と雖も、受験に使わな

つた教科の知識は、特に苦手となれば、高卒レベルも怪しいものなのでしょう。少し前にクイズ番組でおバカタレントとして珍答を発する笑われ役がいましたが、若者全般が彼ら同等となると大変なことだと心配です。

ですが、豊島生は違います。3年間35科目ほどを、ほぼオール5と評価される者が毎年10人弱います。まさに「至誠」を体現している生徒です。この人数を増やしていく、豊島高校の名に恥じない、素養と行動のできる生徒に育てていきます。是非、同窓会からも、後輩の努力に賞賛を示していただけたらと思います。



### 長く続けたい。



柏豊会会長 鈴木(豊田)優子  
高校14回

同窓会の皆さまには、ますますお元気に活躍の事とお慶び申し上げます。

東日本大震災から、はや3年、原発事故の影響で今も立ち入り制限区域には2011年3月のカレンダールが張られ時計の針は2時46分を指したまま。時は流れても進まないものも...。中々復興の兆しが見えず未だ2636人の行方不明の方がいらつしやるこの事、被災された皆さまに本当に心からお見舞い申し上げます。又今後も少しずつですが長く支援させて頂きたいと思えます。この4月から三陸鉄道全線開通の朗報もあり、頑張つてゆきたいと思つています。

ある日の新聞に「3月11日」を忘れない為の語呂合わせが掲載されました。うまい語呂だなと書いた人を見たら知つた名前。私の同期生でした。このページの右下に紹介しておきます。

今年3月8日めでたく高校66回

生238名が卒業されました。卒業式は涙あふれる中にも和やかな雰囲気先生と生徒の強い絆を感じ胸が熱くなりました。

重点支援校だった成果で今年も国公立、有名校への進学率も高く先生方の人並みならぬご努力と熱き思いの結果と思えます。

又部活動も素晴らしく、社会への貢献も果たしている様子で先輩として誇りに思っています。

博報堂生活総合研究所が毎年、生活者動向を予測し発表、今年のテーマは「インフラ友達」。今人々の関心は「本当の友達」。つまり生活のインフラ(土台)となる友を得る事にあるとし、50の友情の形を紹介、ペットを通じての「ペット友」1年に1度しか会わないが喜びを与えてくれる「ネーイチさん」生きる気力を貰う「命友」、口論をしても最後は自分に気付きさせてくれる「怒友」...読みながら気付くのは、形は多様でも真理は一

つ。つまり友達を得るには、まず自分が相手の「よき友」になるという事。自身の成長こそ、本当の友人を作る土台となると。豊島生は優しく穏やかで仲も良いので、それを長い人生に精一杯に生かしてほしいと思えます。

昨年は11月8日フイリピンが猛烈な台風直撃され死者、不明者約八千人と胸痛む思いです。又中国のPM2.5濃霧で日本にも影響が...、そして7月22日英キャサリン妃男児出産と良き出来事もありました。

日本では2020年東京オリンピックの56年ぶり開催決定。6月22日富士山が世界文化遺産に登録等の報道もありましたが、10月16日伊豆大島の土石流災害で死者35人との悲しみもありました。また今年に入り東京は45年ぶりの大雪に見舞われ大騒ぎともなりました。今柏豊会では様々な活動を実施しています。4月代議員会、5月

会報誌発行、6月は母校で親睦会(ゲームや演奏もあり同期会クラブ会と再会の場に!)9月の文化祭での公開講座「ハートtoハート」又同窓会コーナーを設けお茶菓子も用意しています。3月は卒業生の皆様に記念品の贈呈等々です。

今年も又母校へ援助金、文化財保護への支援、又新たな企画に取組む予定もしています。

母校の伝統である至誠、文武両道の精神を本当に大切に、皆様のご健康とご活躍をお祈り致しますと共に今後共ますますのご協力を心からお願ひ申し上げます。

**東日本大震災**  
の日付のこと!!

(ワンワンさんちのワンワン  
11・3・11  
2011年 3月 11日)

に よろ めく)  
2・46・M9  
2時 46分マグニチュード9)

と覚えて忘れないで下さい  
(高校14回 小山(唐木)操)

# 表紙のひと

由利高原鉄道社長  
春田啓郎さん(高校22回)



春田啓郎さん  
撮影 広田尚敬氏

表紙を飾った写真は、秋田県の名峰・鳥海山の麓を走る第3セクターのローカル線・由利高原鉄道の列車です。実は、この鉄道は、公募制の社長として、春田啓郎さん(高校22回)が手腕を振るっています。今回は春田さんをご紹介します。

## ◆きつかけは大震災!?

春田さんは、豊島高校卒業後、大学へ進学、その後は東急観光(現トップツアー)に就職。36年もの間、旅行業界にて活躍されました。それが、転機となったのは、2011年に発生した東日本大震災でした。それまで順調だった旅行の予約もキャンセルが相次ぎ、売り上げも下がる一方。そんな中、早期退職の話があり、熟慮した結果、定年まであと1年というところで退職を決断。た

だ、この時点では「何のあてもなかったですよ」とのこと。

それから半月後、この由利高原鉄道が社長を募集している話を聞いて、もともと鉄道が好きだった春田さんは興味を持ったそうです。折しも、再就職に向けて先輩や雇用支援機構の話を聞いたりして、100社くらい受けないといけないかなと考えていたところで、「それじゃあ100のうち、1個くらい自分の好きなことをやろう」というのが由利高原鉄道受験のきっかけだったそうです。

受験を決めた春田さんは、遠路はるばる秋田の由利高原鉄道にも足を運び、「列車に1回くらい乗っただけでは、その鉄道についてわからない」ということで、駅前です。自転車を借りて沿線を回ったりしたそうです。

その甲斐あってか、小論文などの書類審査を見事突破、52名の応募者のうち、面接に進んだ6名に残ることが出来ました。

面接では、結構難しいことを訊かれたようですが、そこは旅行会社で培った経験が活かされ、そしてついに由利高原鉄道の社長として就任、2011年6月のことでした。

## ◆豊島生との絆はいつまでも

ところで、豊島高校時代の春田さんとはどういった関係性なのでしょうか。春田さんによると、「面白」とはいいっぱいあった。そうですが、紙面に書くのはちよつとということですが、ここでは割愛させて頂きます(笑)。一緒に悪さをしていた仲間も、最終的には県立高校の校長を務めたり、競艇の選手になった方もいたそうで、春田さんも「えっ、あの人が!?」と驚かれたそうです。

また、ワンダーフォーゲル部(旧山岳部以下ワンゲル)に所属しており、合宿で北アルプスなどにも登ったことも。一緒にテントなどに泊まつたりするせいかな、ものすごく仲がよかつたそうで、部の先輩のRさんには仲人をして頂いたりしました。実は、春田さんの伴侶となられた方もワンゲルの方で、一つ下の後輩だったそうです。ワンゲルの旧友とは今でも親交があるそうで、毎年新年会を開いています。

現在では、高校時代の先輩や同級生が由利高原鉄道に乗りに来てくれたりするなど、人望の厚い春田さん。去年の夏は先輩が6人くらい来てくれたそうで、そんな時は社長自ら沿線のご案内に出ることも。

また、3年生の時に国語を教わったという花崎幸子先生は、2年くらい前に、娘さんとお孫さんと一緒に秋田まで足を運んでくれたそうです。

また、春田さんはこれまで住んでいた埼玉を離れ、現在は沿線の由利本荘市にお住まいですが、春田さん自身もまさか誰も知り合いがないだろうと思っていたら、由利本荘市内の大きな病院の老人介護施設の施設長が豊島高校の2年後輩で、新聞かテレビを見た方から電話がかかってくるそうです。「探せばいっぱい豊島生がいるかも」とおっしゃる春田さんは、フェイスブックなども活用して同期と連絡を取り合えるようにしているそうです。

## ◆赤字ローカル線を救え!

さて、現在の仕事のこと話を転じてみますと、由利高原鉄道社長になっていろんな出会いがあったという春田さん。その出会いを活かして、赤字ローカル線を救うべく奮闘の日々が続きます。「まず広告宣伝費といたものがなかったので、意図的に人脈だとかそういったものを作って、テレビや新聞社に働きかけをして、記事として取り上げてもらっています」

また、赤字ローカル線の経営について話及ぶと、「第3セクターは行政色が強いところが多く、思い切ったことができない場合が多い。あと、役所みたいな体質を受け継いじゃうと、要員も多くなっちゃうし、費用もかかるし、複数の業者に見積りを取って安いほうにするなんて発想がないんですよ。決まった業者でやる。それだからコストがものすごくかかるんです。鉄道はもちろん安全優先ですが、それだけだと何もできないです。そうこうしているうちに、会社が潰れますよ。安全の優先は当たり前なんだけれども、そこをもうちよつと考えないといけない」と熱く語って頂きました。少しでも乗客を増やそうということで、春田さんは「かかし列車」や「納涼ビール

列車」など、数々のイベント列車の運行を手掛け、ほぼ毎月何らかのイベント列車が運転され、観光客や地元民に大きくアピールしています。イベント列車の他にも、日に一往復、かすりの着物を着た秋田おばこ姿のアテンダントが乗務。沿線の観光案内や、グッズの販売もしており、これも観光客から好評を博しています。

「新しいことをやるのが好きなんです」という春田さんの言葉通り、いろいろな新しい「仕掛け」を施し、増収を狙います。最後に春田社長から一言。「たまたま第二の人生で、自分の好きなことをできるようになったんですけれども、まだほとんど知られていないローカル線なので、とりあえず応援して欲しいです。ぜひ秋田に乗りに来て頂いたり、あるいは東京でイベントがあるときには足を運んで頂きたいです」これから新緑の時期、どこかちよつと懐かしい秋田のローカル線を訪れる旅なんていかがでしょうか?



おばこ姿のアテンダントがご案内します  
由利高原鉄道HPより  
<http://www.obako5.com>

# ◆ 学校の話題 ◆

## 「言葉の祭典」 決勝に出場

豊島高校は、皆さんもお馴染みの文化祭での「弁論大会」など昔から「言葉」に対する教育が盛んな高校でもあります。昨年、東京都教育委員会主催の「言葉の祭典」の「弁論の部」の個人戦で、当時母校2年生の秋山愛実さんが見事予選を勝ち抜き、決勝に進出となりました。秋山さんにお話を伺いました。

「言葉の祭典」に出場されたきっかけは？  
最初には弁論大会のほうに出ないかと担任の先生に勧められて出ることにしたら、弁論大会に出る人は豊島高校は言語能力向上推進校なので「言葉の祭典」にも出場することになっていて、出なくてはならないとのことでした。学校の弁論大会より先に「言葉の祭典」の予選がありました。

予選はどのような感じでしたか？  
いろいろな高校が集まってきたので、20名位いました。豊島高校は弁論大会の出場者が3名いて、3名とも予選に出場しました。他の高校が、基本的に1校につき1名の出場だったので、いかに豊島高校が盛んであるかと思いました。それに、何グループかに分かれて、予選を行って、その中から5名が決勝に進出しました。

「言葉の祭典」には「討論の部」と「弁論の部」がありますが、秋山さんが出場した「弁論の部」は、テーマを決めて原稿を作ってそれを発表したというんですね。そうですね。「言葉の祭典」のほうで用意されたテーマがいくつあつて、何かしらそれを取り入れた弁論にしようというところで、担当の先生と相談しながら原稿を作りました。

秋山さんのテーマが「夢の実現とものづくり」ということで、結構幅広いテーマですね。夢とかものづくりとか将来だとか、結構幅広いテーマがあつたんで、好きなものを選びました。グローバル化とか環境とかもありましたね。キーワードとしてそれを取り入れて弁論を作ってくださいとのことでした。学校の弁論大会でも同じ原稿でやりました。

予選に受かったときはうれしかったんじゃないですか？  
うれしかったというより、びっくりしました。2年生が私含めて2人で、3年生の先輩も出ていて、先輩のほうかうまいと思つていたので、決勝に出るとしたら先輩だろうと思つていました。

一番苦労されたのは、原稿を作る段階ですか？  
そうですね。最初に夏休みの間に書いて担当の先生に提出しようと言われて。最初、見せただけですけど、具体例が少ないので、もうちよつと具体的な言葉を入れたほうが良いと言われて。何度か書き直して、別の先生に見てもらったりしました。最初は弁士全員同じ先生に見てもらつたのですが、そうするとその先生の好みも出てしまうので、他の先生にも見てもらつたほうがいいということ、お願いしました。内容もちよつと変えたり、話の持つて行き方を変えたりとかして、最終的な原稿を練り上げました。

発表するときは、大勢の人を目前にして緊張しませんでしたか？  
演劇部に所属していたこともあり、そんなに緊張はしませんでした。「言葉の祭典」の予選のほうに先にあつたんですが、学校でやっている舞台祭のほうで、規模も会場も広い、全生徒ということで、人数も多く知つている人もいるので、そつちのほう緊張しました。

「言葉の祭典」 決勝も緊張しませんでしたか？  
そうですね。予選よりは大きな会場であつたんですけど、そんなに緊張はしなかつたです。5分くらいしかなかつたですし、本番の前にも練習もあつたので、大丈夫でした。演劇部での経験が活かされたかなあと思います。

今後こういった機会があつたら出たいですか？  
出たいなあとは思いますが、ただ、今回優勝はできなかったけれども、たまたま決勝に残つたので、もし次も出場して予選落ちだつたら申し訳ないなあという思いはあります。

来年も弁論大会に出る予定ですか？  
受験もありますので、どうしようかなと思つています。出場する人が少ないので、もつといろいろな人に出てほしいなあと思つています。



「言葉の祭典」に出場した 秋山愛実さん

思います。今回3人しか出場者がいなかったんですけど、3人だと盛り上がりがない感じですが、ちよつと出づらいつつというのもあるかもしれないけど、1年生や男子にも出てほしいと思います。

「出場した経験を活かして、将来何かに役立たいですか？」  
将来についてはまだ考えているところですが、でも日本語って結構難しいところもあるけど、他の言語などに比べたら多様性があったらと思うので、それを活かせる仕事につけたらと考えています。

### 卒業生大学進学実績

2014年3月卒業(高校66回生) 238名

●大学合格者数		豊島高校調べ
大学グループ	合格者数	大学名詳細
国公立	4	首都、会津、千葉県立保健医療
早慶上理	6	早稲田、慶応、上智、東京理科
G M A R C H	47	学習院、明治、青山学院、立教、中央、法政
成成武独他	35	成城、成蹊、武蔵、獨協他
日東駒専	91	日本・東洋・駒澤・専修
大東亜帝国	51	大東文化・東海・亜細亜・帝京・國學院
4工大	15	芝浦工業、東京電機、東京都市、工学院
女子大	6	
合計	255	複数合格している生徒がいるため、生徒数を上回っております

・今回は大学の合格者数を掲載しました。  
・上記大学グループは、学校や予備校等で使われている用語です。  
●その他 短大5名、専門学校39名、就職2名


### 「地域活動」でも活躍！(上記写真参照)

豊島区は安全・安心まちづくりを目指しており、その拠点として「区民ひろば」が24ヶ所あります。豊高生は近くに位置する区民ひろばさくら(豊島区長崎6丁目)でのイベントに出演、昨年11月16日開催の「秋のコンサート」では、吹奏楽部アンサンブル5チームが穏やかに落ち着いた素晴らしい演奏を、3月6日開催の「ひろばさくらまつり」では、マジック同好会が楽しい手品を披露し、世代を超えたコミュニティーの輪に参加しています。

# 部活動紹介

豊島高校には現在、運動部、文化部、同好会あわせて 22の部活動があります。


**男子バスケットボール部**



私たちは男子バスケットボール部は、2年生5人、1年生16名で活動しています。「走る、声、汗」をこめて毎日一生懸命練習に励んでいます。毎試合、勝利を掴むことで、自分たちの成長を感じています。


**女子バスケットボール部**

**ひたむきに頑張ろう**




私たちは女子バスケットボール部は、部員18人で週6回活動しています。練習には毎日、学校生活だけでなく、家庭でも練習を怠りません。練習の成果を日々の練習で発揮し、頑張っています。

**男子バレーボール部**




私たちは男子バレーボール部は、部員21人で週6回活動しています。春と夏と異なる大会で良い成績を残すべく、日々練習に励んでいます。チームワークを大切にし、お互いをサポートしながら練習しています。

**女子バレーボール部**




私たちは2年生7人、1年生6人で週6回活動しています。練習には毎日、学校生活だけでなく、家庭でも練習を怠りません。練習の成果を日々の練習で発揮し、頑張っています。

**バドミントン部**



私たちは週6日活動しています。男女40人、練習には毎日、学校生活だけでなく、家庭でも練習を怠りません。練習の成果を日々の練習で発揮し、頑張っています。

**男子硬式テニス部**




男子硬式テニス部は、週6日、部員10名で活動しています。練習には毎日、学校生活だけでなく、家庭でも練習を怠りません。練習の成果を日々の練習で発揮し、頑張っています。

**女子硬式テニス部**




私たちは女子硬式テニス部は、部員18人で週6回活動しています。練習には毎日、学校生活だけでなく、家庭でも練習を怠りません。練習の成果を日々の練習で発揮し、頑張っています。

**ソフトテニス部**




ソフトテニス部は、週5日活動しています。練習には毎日、学校生活だけでなく、家庭でも練習を怠りません。練習の成果を日々の練習で発揮し、頑張っています。

**ソフトボール部**




ソフトボール部は、週5日活動しています。練習には毎日、学校生活だけでなく、家庭でも練習を怠りません。練習の成果を日々の練習で発揮し、頑張っています。

**サッカー部**




サッカー部は、2年生26人、1年生30人で週6回活動しています。練習には毎日、学校生活だけでなく、家庭でも練習を怠りません。練習の成果を日々の練習で発揮し、頑張っています。

**軟式野球部**



軟式野球部は、2年生13人、1年生7人で週6回活動しています。練習には毎日、学校生活だけでなく、家庭でも練習を怠りません。練習の成果を日々の練習で発揮し、頑張っています。

**卓球部**




卓球部は、週4日活動しています。練習には毎日、学校生活だけでなく、家庭でも練習を怠りません。練習の成果を日々の練習で発揮し、頑張っています。

**陸上部**



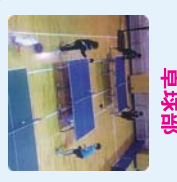
陸上部は、短距離中長距離、長距離、マラソン、駅伝、部員20人で週6回活動しています。練習には毎日、学校生活だけでなく、家庭でも練習を怠りません。練習の成果を日々の練習で発揮し、頑張っています。

**卓球部**




卓球部は、週4日活動しています。練習には毎日、学校生活だけでなく、家庭でも練習を怠りません。練習の成果を日々の練習で発揮し、頑張っています。

**科学部**



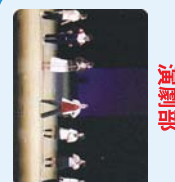
科学部は、科学的分野について研究しています。実験、観察、発表会などを通じて、科学的知識を深めています。

**演劇部**



演劇部は、現在7名で活動しています。練習には毎日、学校生活だけでなく、家庭でも練習を怠りません。練習の成果を日々の練習で発揮し、頑張っています。

**茶道部**




茶道部は、今年度は、外部で活動する機会が多くなりました。練習には毎日、学校生活だけでなく、家庭でも練習を怠りません。練習の成果を日々の練習で発揮し、頑張っています。

**卓球部**




卓球部は、週4日活動しています。練習には毎日、学校生活だけでなく、家庭でも練習を怠りません。練習の成果を日々の練習で発揮し、頑張っています。

**吹奏楽部**




吹奏楽部は、今年度は、外部で活動する機会が多くなりました。練習には毎日、学校生活だけでなく、家庭でも練習を怠りません。練習の成果を日々の練習で発揮し、頑張っています。

**美術部**



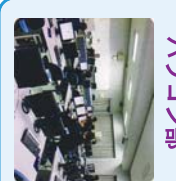
美術部は、2学期末で中央展の準備が完了しました。練習には毎日、学校生活だけでなく、家庭でも練習を怠りません。練習の成果を日々の練習で発揮し、頑張っています。

**料理研究部**



料理研究部は、毎週火曜日の活動です。練習には毎日、学校生活だけでなく、家庭でも練習を怠りません。練習の成果を日々の練習で発揮し、頑張っています。

**パソコン部**




パソコン部は、毎週火曜日の活動です。練習には毎日、学校生活だけでなく、家庭でも練習を怠りません。練習の成果を日々の練習で発揮し、頑張っています。

**マジック同好会**



マジック同好会は、マジックの魅力を伝えるために活動しています。練習には毎日、学校生活だけでなく、家庭でも練習を怠りません。練習の成果を日々の練習で発揮し、頑張っています。

**漫画イラスト同好会**



漫画イラスト同好会は、漫画の魅力を伝えるために活動しています。練習には毎日、学校生活だけでなく、家庭でも練習を怠りません。練習の成果を日々の練習で発揮し、頑張っています。

(豊島高校 PTA 会報より・記事使用許諾済)





同期会  
OB・OGだよ

千早会Ⅲ  
(高女九回・高校二回)  
平成26年2月5日



千早会Ⅲの第2回の集いを例年どおり2月5日にホテルメトロポリタンで開きました。同日は御元氣な宇高先生、花崎先生をお迎えして、出席者は43名寒い日が続くなか昨年と同じ出席者数でした。会場は窓からの眺めが素晴らしい25階ポラリスのゆったりとした部屋、六つの円卓を囲みにぎやかに話が弾み、楽しい3時間が過ぎました。しかし今後の事も考えて来年からは、さらに簡略な集まりにしたいと思いません。今回出席の方々の了承も戴いて次の様に変更することになりました。

①日時は今迄通り毎年2月第1水曜日の午後1時30分から。

②場所はホテルメトロポリタン

2階 花むさし

③お知らせは致しません。グループ等で誘い合わせたり、御1人でも御2人でも花むさしへ御出かけ下さい。

④千早会として日時の予約だけをしま

すので、この日(2月第1水曜日)に花むさしへ行けば懐かしい顔に会えるというわけです。

⑤会費を集めることはしませんので、各自御注文下さい。全員を取りまとめる仕事は年とともに負担も大きくなりまして、このように変更いたしました。

形式は変わっても1年に1度の機会を楽しみにいたしましょう。元氣な私たちの平均寿命はまだまだ先なのです。皆さまどうぞ健康第一にお過ごし下さいますようにと願っております。

【世話係一同】

吾等5回生同期会  
平成25年10月29日  
於・ホテルメトロポリタン



吾等5回生の同期会は随分昔から毎年秋に催される。1組から8組までの同期の内約250名に案内状を出し、病に伏している人、音信不通、そして事情があつて参加を希望しない人等を含むと、約40名前後が集まつて来る。先生方は国語の花崎幸子先生、体操の樋口正三先生、数学の松原久三先生、理科の海老根甲先生、皆さん年をとられたが、元氣な人、

病と闘っている人、無理もない。ここ数年私の事務所で幹事をやらせて頂いて、勝手だが私のスケジュールと調整しながら、極力ウィークデイの昼間都内の各所で行っている。

本年吾々は傘寿、80才を迎える。一堂に会するとタイムスリップして、一瞬の内に往時に戻り和氣藹藹。それぞれの近況が語られ人柄が滲み出る、又適当に野次が飛び交い時の過ぎるのを忘れさせる。

今後会の存続を問うてみたが、やはり続けてほしいとの意見がまとまり、26年は150名位の方に案内状を出すつもりだ。健康に留意されてぜひとも参加をと呼びかけても、夫の采配如何にかかっている。何とか粋な采配を期待したものだ。

一人身の方も男女共に多くなつてきた現在、何かと精神的に不自由かも知れぬが、これは決して不幸ではない。与えられた自分の人生が続く以上、寿命という順番のない順番が来るまでは、その時間を如何に豊かに充実させて暮らすか、悔いのない人生を願いたい。因みに、小生24年度の秋の芸術祭参加作品として、長年演じて来たブロードウェイ・ミュージカル「フアンタステックス」の制作、演出、出演をし、芸術祭大賞を受賞した。近々、再演の予定である。

人間だから淋しくなる時もある。家に閉じこもっていないで、絵画や美術品に触れるものも良いだろう。いい映画や舞台芸術の中に身をおくのもいいだろう。それは新しい感動が己れの気持ちを支えてくれる事だろう。

【宝田 明記】

高校6回生同期会  
平成26年4月9日  
於 SUTTEE 高松銀座7丁目店



今回は久しぶりに春の盛りに開催しました。が、ほかの用件と重なる人、介護問題を抱えている人、ご自身の健康上の問題などから参加者数は、再開当初の約6割の42名と減少しました。

一方、卒業以来、初参加の方と何十年ぶりに参加された方々が8名、予定外の当日参加の方まで出るサプライズ会でしたが、自由着席方式をとつていたことで、なんとか対処することが出来、初参加の方から優先的にスピーチをいただき、その後の皆様の会話も大いに弾みました。次回同期会については、会費を出るだけ安くするよう検討の上、27年秋に傘寿の会を計画することに。そして遂行態勢については「現幹事団の続投」と、会場から多勢のコールを受けて散会しました。

【狩野 哲光記】



高校33回元1組クラス会  
平成25年11月23日  
中谷(有馬) 順子

平成25年11月23日15時より練馬区役所展望レストランにて、昭和60年卒業1・2年次の「元1組クラス会」を開催しました。2年前に米寿の花崎幸子先生を囲んで15年ぶりに集った席で放たれた「次は2年後、卒寿を祝う会を開きましょう」との言葉が実現した次第です。

花崎先生は「要介護になってデイサービスに行ってるのよ」とのことでしたが、お一人で会場に來られ、凛としたたずまいと張りのある声は以前と変わらず、更年期・老眼・記憶力低下が、と嘆く私たちを叱咤激励して下さいました。



また今回は、卒業どころかそれ以前、高校1年の夏に突然姿を消し35年間謎に包まれていた「M君」がはるか北陸から地酒を片手に現れ、時空を超えた様々な話で大いに盛り上がりました。M君発見にご尽力いただいた柏豊会幹事の方に心よりお礼申し上げ、ご報告とさせていただきます。

高校43回  
平成26年1月13日  
於：南池袋ヴォアドック  
代表幹事 山口 淳

Facebookという便利なSNSが皆を繋いだ。記憶の中では初めてだと思ふ、豊島高校第43回卒業生の同窓会「2度目の成人式」。



南池袋のレストラン「ヴォアドック」で盛大に開催しました。把握できた範囲でほぼ全員に案内ハガキを出した。が、6割以上が不着で返ってきてしまった。23年という月日が、とても長かったんだと感じた。

しかしそれでも個々がメールやSNSで連絡を取り合い、30名キヤバの会場に55人もの仲間でおしくらまんじゅう状態。

その距離感がまた懐かしい想い出話に花を咲かせた。おじさんになっちゃってるヤツや変わらぬヤツ、様々。もう40過ぎだから、おじさんで正解なんだけどね。それでも女の子たちが若々しくって、とても華やかだった。

幹事、大変でしょう。と言われるが、

実はそうでもない。段取りしている最中から、楽しそうにしてる皆を想像するだけでワクワクしてくるんだ。そして、それが現実とリンクして重なった時、私の中の大きな喜びとなる。

翌朝から大量に届いた、「楽しかった」「行つてよかった」「ありがと」のメールと、写真が残した沢山の笑顔が、また今日からの活力となる。今回連絡がとれたにも関わらず、やむなく欠席した仲間からも次回の早期開催をお願いされています。きっと近いうちに集います。ココを見ている同級生のあなた。連絡ください。

【幹事代表：山口 淳 un@wedhair.com】

豊籠会だより  
(バスケットボールOB会)  
大野克之(高校24回)

平成26年2月15日(土)に毎年恒例の総会・新年会を開催しました。

OB会発足から62年目の始動は、あいにくにも二週続けての大雪の影響で出席者が少なくなっていました。同じ部活を経験した同士、年に一度程度の再会で祖父と孫ほどの年の差があつても、時空の繋がりがあつて不思議と会話が盛り上がります。いつも通りあつという間にお開きの時が来てしまい、再会の約束と締めになります。その後は近い世代の二次会が待っています。

活動の一環として、昨年10月に「北川氏を語る会」(平成24年に急逝した高校25回の北川一郎氏を偲んで)を開催しました。北川氏は長い間現役のこ

いちを務めたのでOBのみならず、OGの方も多く参加しました。久々に会った方々は、年を重ねて容姿は変わっても声としぐさに高校生時代の面影をちらつと感じさせながら、北川氏への感謝を口々に語り合っていました。

今年はホームページ開設する予定です。情報を出るだけタイムリーに掲示して会員の絆を深めたいと思います。また、連絡が取れなくなつてしまつたOB・OGの方々へのコンタクトツールとして役立てたいと考えています。豊籠会は「現役部員の支援」と「会員の親睦」を目的に諸先輩から継続して来ましたが、その意義を十分に感じる会です。来年(2月末〜3月初)の親睦会には多くの笑顔が見られることを願っています。



北川氏を語る会

### 豊島交遊録 柔道部は永遠に不滅です＝赤羽俊一 (高校 29 回)



170cm 体重 57kg の、ひ弱な私が、なんとなく柔道部へ迷い込む。練習は辛い、苦しいのは、不真面目部員。ところが、同期は、強者揃い。都大会の上位入賞常連で、並み居る私立常連強豪校とガチンコ勝負。岡 (大将)、見目 (中堅) がその筆頭。なんで、ここに都立高校が残っているのって感じでした。

あの和村先生 (故人) の指導のもと、体が鉛になった夏合宿。今となっては、辛いとか楽しいではなく、青春時代は、後から、ほのぼの思う一コマです。そして卒業。不思議な縁というか、柔道部同期の岡、見目とは、年次は違えど、立教大学の同窓に。ただ、キャンパスでは、まったく会ったこともなく、4年が経過しました。岡は、ばりばりの体育会柔道部。六大学リーグで活躍。現在は東急不動産勤務。見目は、池袋で麻雀放浪記青春編。リコー勤務。私は競技スキーに明け暮れる。そして月日が経過。フェイスブックの繋がりで、昨年、3人で同期会を実施。35年ぶりの再会。

「お前、大学で何してたんだよ」から始まり、話題は、柔道へ。畳の匂いを感じる会話が続きまして。そして天国へ召された同期の石川もおり、しばし黙祷。青春ど真ん中でスポーツをやれた幸せを味わいました。

今回は、部長の高橋剛二を筆頭に、全員集めて会おうぜとなった次第。紅一点の大西さん、待ってます。現在、柔道部の名簿も、そして豊島高校に柔道部もない状態です。校長、柔道部の復活をお願いします。

私の方は、昨年、現在の勤務先から、みずほ銀行への出向辞令があり、天命と思ひ、受諾。片道切符でしょう。勤務すると同時にドラマ半沢直樹がスタート。倍返しは、ドラマだけでした。(笑)

人生わからないのもです。そして、ここでも、豊島高校の縁がありました。なんと全学年とも同じクラスだった杉浦 (バスケ部) と、みずほで同僚として再会。勤務地は違いますが、一杯やると、アダムミス、ケインズ、シュンペータを肴に経済論議してます。樋口 (陸上部) とも会う機会があります。彼は千早町の大地主。アパレル系の仕事に従事。大野とは、小中高と一緒の仲。彼は、早大から文科省系の団体に進み、1980年代のバブル期はニューヨーク駐在。私も海外出張が続いた時期であり、大野とマンハッタンのダウンタウンで、派手に同期会実施。バブル最高!!! 宮澤 (サッカー部) は、ネットプロバイダ大手ニフティで活躍中。インターネット黎明期に彼と一緒に仕事をした事があります。会社員人生も9合目。先が見えてきました。仕事は適度に。水泳指導、野菜作り、バンド活動をライフワークにする55歳。来年は、おじいちゃんと言われる予感がしておりますが、何歳になろうが、あの当時の共学私服の豊島高校を語り継いでまいりたく思います。(連絡先 gfb02002@nifty.com)

#### 「通信協力費」ご協力お願いします!

日頃は柏豊会事業にご理解・ご協力誠にありがとうございます。柏豊会では会運営維持・会報充実などに向け「通信協力費」を受付し、有効活用しています。昨年度もたくさんのご協力にお礼申し上げますと共に引き続きご協力お願いします。

【幹事一同】

送金は同封振替用紙の利用をお勧めします。ゆうちょ銀行またはお近くの郵便局からどうぞ。

- ▼通信欄に、住所・氏名・入金額・卒業回・クラスの記入を。
- ▼振替用紙は、前年度入金有無にかかわらず同封されます (一部の方除く)。先の分まで送金済の方は、お手数ですが振込用紙は破棄ください。
- ▼同期会などまとめたの入金も可能です。通信欄で詳細お知らせください。
- ▼振込用紙以外でお振込の場合は、左下の口座あてにお願いいたします。
- ※他銀行から送金の場合、同封振替用紙は使用できません。

**送金口座** (ゆうちょ銀行振替口座番号) **00150-7-403846**

**加入者名** (受取人)  
**柏豊会 (都立豊島高校同窓会)**

- \* 通信協力費として一口1,000円以上 (千円単位)
- \* 通信協力費は同窓生の任意で振込頂くもので、年会費や親睦会参加費等とは異なります。
- \* 振替金の受領書をもって領収書に代えます。
- \* 振替用紙上の個人情報には、柏豊会で厳正に管理します。

なお用紙の保管は5年間とし、以後は裁断し破棄いたしますのでご了承ください。

#### 届いていきますか? 会報は同窓会の「命綱」

現在、同窓会報「柏豊」は、定期的に送付する唯一の通信手段です。毎年約一万六千の会報を送っています。ご会報の届いていない方がいたらご連絡ください。同窓会幹事の皆様へお願ひの新たなご住所を、柏豊会にもご提供ください。皆様の個人情報は、柏豊会で厳正に決めて厳正に取扱っています。

【物故者】平成二十五年四月から二十六年三月まで逝去の連絡を頂戴した旧職員・同窓生を掲載し、故人のご冥福をお祈り致します。(順不同・敬称略)

- |                  |                  |                  |
|------------------|------------------|------------------|
| 三谷 (萩原) かね子 (女二) | 高橋 (藤井) ハルミ (女二) | 吉田 (照男) (高四)     |
| 鈴木 (宇田) 長子 (女二)  | 高橋 (藤井) ハルミ (女二) | 富岡 (柄本) 瑠子 (高四)  |
| 鈴木 (丸尾) 宏子 (女二)  | 高橋 (藤井) ハルミ (女二) | 稲葉 (小泉) 暢子 (高四)  |
| 早川 (丸尾) 興子 (女二)  | 高橋 (藤井) ハルミ (女二) | 松尾 (深谷) 令子 (高四)  |
| 早川 (丸尾) 興子 (女二)  | 高橋 (藤井) ハルミ (女二) | 宇野 (森本) 万里子 (高五) |
| 鈴木 (丸尾) 興子 (女二)  | 高橋 (藤井) ハルミ (女二) | 岡崎 (森本) 万里子 (高五) |
| 鈴木 (丸尾) 興子 (女二)  | 高橋 (藤井) ハルミ (女二) | 高野 (塩野) まき (高六)  |
| 鈴木 (丸尾) 興子 (女二)  | 高橋 (藤井) ハルミ (女二) | 井上 (厚見) 伊津子 (高七) |
| 鈴木 (丸尾) 興子 (女二)  | 高橋 (藤井) ハルミ (女二) | 奥川 (大日方) 節子 (高八) |
| 鈴木 (丸尾) 興子 (女二)  | 高橋 (藤井) ハルミ (女二) | 近藤 (正弘) (高八)     |
| 鈴木 (丸尾) 興子 (女二)  | 高橋 (藤井) ハルミ (女二) | 森宏枝 (高八)         |
| 鈴木 (丸尾) 興子 (女二)  | 高橋 (藤井) ハルミ (女二) | 木村 (高田) 信子 (高九)  |
| 鈴木 (丸尾) 興子 (女二)  | 高橋 (藤井) ハルミ (女二) | 大岩 (馬淵) 紀子 (高十)  |
| 鈴木 (丸尾) 興子 (女二)  | 高橋 (藤井) ハルミ (女二) | 羽賀 (齊藤) 美佐子 (高十) |
| 鈴木 (丸尾) 興子 (女二)  | 高橋 (藤井) ハルミ (女二) | 千田 (鈴木) 洋子 (高十一) |
| 鈴木 (丸尾) 興子 (女二)  | 高橋 (藤井) ハルミ (女二) | 愛川 (高朗) (高十二)    |
| 鈴木 (丸尾) 興子 (女二)  | 高橋 (藤井) ハルミ (女二) | 磯谷 (吉武) 克子 (高十二) |
| 鈴木 (丸尾) 興子 (女二)  | 高橋 (藤井) ハルミ (女二) | 磯谷 (吉武) 克子 (高十二) |
| 鈴木 (丸尾) 興子 (女二)  | 高橋 (藤井) ハルミ (女二) | 磯谷 (吉武) 克子 (高十二) |
| 鈴木 (丸尾) 興子 (女二)  | 高橋 (藤井) ハルミ (女二) | 磯谷 (吉武) 克子 (高十二) |
| 鈴木 (丸尾) 興子 (女二)  | 高橋 (藤井) ハルミ (女二) | 磯谷 (吉武) 克子 (高十二) |



伊勢神宮に収められた匠の技

昨年、伊勢神宮の第62回神宮式年遷宮が行われたことは、皆さんも記憶に新しいかと思いますが、実はこの式年遷宮に豊島生も携わっておりました。彫金家として活躍されている浅井盛征さんです。20年に一度行われる式年遷宮では、お宮を新しく建て替え、そのお宮に収める神様の服飾品や威儀具、武具や日常具などの御装束神宝も調製されます。その御装束神宝の一つである「玉佩(ぎよくはい)」の調整を浅井さんが手がけたのでした。

◆「玉佩」って何ですか？

「玉佩」とは古代朝廷の儀式において、礼服(らいふく)を着用した際に腰の下から足元にかけて垂らし、沓(くつ)先にあたって鳴るようにした装飾品の一種で、触れた時の音の響きが大事とされています。上部の大形燧(ひれうち)金(がね)と中央の翼形(よくかい)金(がね)を中心に、五色の吹玉(ふきたま)三〇〇四〇〇個を通した5本の組糸を金銅の花形の金具につなぎあわせ、末端は小形燧金と水晶の玉を連ねています。この「玉佩」には宝相華文(ほうそうげもん)が肉彫りされ、文様の空間には精密な魚(うい)子(こ)時(とき) (ななこまき)が施されています。この魚(うい)子(こ)時(とき)とは魚の卵を思わせる小さな点の集まりを打つ技法

で、振り下ろす金槌の力で微妙に大きさが異なってくる大変難しい技法です。浅井さんはその技術を持つという人を尋ね歩きましたが、もはや打てる人もいなくなっているそう。ご自身でやるしかないという決心をされたそうです。

その「玉佩」の美しさに、我々幹事の中からも、感嘆の声が漏れるほど。残念ながら、ご神宝というところで、写真撮影は禁止のため「目に焼き付けます」という幹事も皆さんもその「玉佩」をご覧になりたいとお思いでしょうが、現物は今は伊勢神宮に奉納され、我々の目には触れないところに。また、ちょうど浅井さんの記事が掲載されている本(世界文化社『伊勢の神宮 御装束神宝』南里公海著)に「玉佩」の写真が掲載されていたので、出版社に転載許可をお願いしたのですが、この写真は伊勢神宮よりかなり特別な許しをもらって載せているため許可できない、また伊勢神宮に確認しても許可は下りないだろうとの残念な回答が…

さすが、ご神宝ということ、簡単には我々の目の前には姿を現して頂けないのでした。

◆鉛筆転がして豊島へ!?

ところで、浅井さんの高校の工ビソードを一つ。豊島高校を選んだきっかけは、六角形の鉛筆に候補の高校を書いたという冗談のような本当の話だったそうです。「人生リセットがきかないけど、もし僕が鉛筆をコロコロ転がして、板橋とか出て、そこに行っていたら、全く違う人生があったわけですから、ね」と語る浅井さん。浅井さんが彫金の世界を目指したのは大学生の頃だそうですが、豊島に入っていないかと思ったらその大学への道も違っていたかもしれないもので、人生わからないものです。

◆受け継がれる伝統

ご神宝の調整の他には、工房に教室も開いているという浅井さん。技の伝承にも力を入れていきます。「式年遷宮の歴史は約1300年。その歴史の中で、先輩たちの残したい仕事を見て、後世の人に、第62回はよくなかったと言われたくない。少なくとも、引けを取らない、負けない、いいものを調整したい」と思っているのです。

そう語る匠は次の20年後の遷宮に備えて後継者を育てています。その想いは、後世に受け継がれていくのでしょうか。



→工房での浅井さん。彫金で使う鑿(たがね)は自ら作ったものでその数三千〜四千本。



↑完成前の「玉佩」。完成したものをここでご紹介できないのが非常に残念。

増村紀一郎さん (高校12回) 御神宝を調整

実はこの御神宝の調整には漆芸の人間国宝である増村紀一郎さんも携わっておられました。増村さんは、鶏尾琴や胡籥(やなぐい)など漆を使った御神宝の多くの調整を手掛けられたそうで、昨年8月には浅井さんと共に皇居にて天皇陛下に御神宝完成のご報告をされたそうです。



→かすかべ親善大使としても活躍する増村紀一郎さん (写真は春日部市HPより)

編集後記

◆昨年の会報「ディレクターとすじ」小山靖史さん(高校32回)記事中の「超大物の人生を描く終戦関連の特番を準備中」とあったのは、国連難民高等弁務官の緒方貞子さんの事で、昨年8月「緒方貞子戦争が終わらないこの世界で」として放送されましたが、見逃した方に朗報。この番組がNHK出版から1冊の本になりました。タイトルも番組名と同じ、小山さん著。◆母校に1年生1学期のみしかいなかった男性Mさんから、同窓生ではないが同期の同窓会があれば訪ねてみたいとのメールが。偶然存じていたこの期のクラス会幹事の方に問合せたところ、クラス会でもMさんの話題が出たが何の情報なく諦めていたとの由。連絡先を仲介、同期会だよりにある「高校33回元1組クラス会」が実現。Mさんの母校への想いが通じたのでは。僅かな情報もぜひ会までどうぞ。

柏豊 59号
2014年(平成26年)5月15日発行
© 柏豊会 2014 / 本誌は非売品です
【注意】掲載情報の二次利用及び本誌の転載・複製等を厳禁します
制作・著作 柏豊会 (第十高女・豊島高校同窓会)
会長 鈴木優子
〒171-0044 東京都豊島区千早4-9-21 豊島高校内
FAX 03-3959-8590
印刷 同窓会事務局
《会報編集委員》
尾崎三木淳子
恩田重豊 子
木村一昭 子
泉太恭 淳
島太恭 正
小泉宏 保
小川寛美 竜